

平成 21 年度社会福祉法人福浜会及び施設の 事業報告並びに決算の概要

《事業報告》

法 人

当法人の平成 21 年度を振り返ってみると、先ずは、2 箇所のケアホームが立ち上がったことが挙げられる。4 月にアパートを借りて開所したケアホーム「日和」、そして 3 月には土地と建物の買上げによるケアホーム「みぎわ」がスタートした。この 2 箇所は、法人の理念である地域の課題に取り組んでいくという観点からみると、地域の在宅の方の受入れを積極的に行ったという意味で、新しい形でのケアホームだったと思う。

もうひとつは、障害児（者）地域療育支援センター事業の県からの委託が挙げられる。この 1 年間、初めての事業であるにもかかわらず、コーディネーターであるスタッフが他機関と協力しながら、精力的に動いてきた。その結果のひとつが、前述したケアホームの立上げにつながっていった。地域でひとり暮らしをされて支援が必要な人、発達障がいの方、障がいの重い方等、相談支援や地域生活支援など、その活動の幅は、どんどん広がっている。それだけ、上がってきていないニーズがたくさんあるということだと思う。

重心と呼ばれる障害の重い方の支援については、この人たちに関わる看護及び介護従事者の養成研修や県単独の制度の実施など、静岡県も積極的に施策を打ち出している。この中東遠地域では、磐田市内の施設で、はまぼうと同じ重症心身障害児者通園事業 B 型を行うことが決まった。一步ずつ、障がいの重い方が活動できる場所が増え、在宅支援の幅が広がっていくことは望ましい。現在、全県で進められている重心の方のネットワーク作りに向けた動きも、地域全体で在宅支援を進めていく上でとても重要な意義があると思う。

法人役員会等の開催については、理事会、評議員会ともに 3 回開催され、事業計画・予算、事業報告・決算、ケアホーム「みぎわ」の開設、備品取得の承認、規則及び規程の改定等が審議された。

施 設

各施設では、できるだけ自分がやってみたいと思う活動が選択できる方法を取り入れている。自分の意思を他の人に伝え、やりたい仕事を自分で決められることは、自分らしく生きることにつながる。作業活動やレクリエーション活動などのさまざまな場面で、選ぶ機会を心掛けている。

各施設で取り組んでいる作業活動は下記のとおり。他に自動車部品やふすまの製作事業所、2 箇所の老人保健施設でのベッドメイキング、しいたけの収穫など、事業所等に出掛けて働く活動も実施している。

その他の面では、グループ毎や個別の体験活動（プール・スポーツ・料理作り・外出等）、土曜日開所日のレクリエーションなどを 1 年間通して実施。7 月にはボランティアさんの協力を得て行う地域交流会を開催。また各種バザーへの積極的な参加、観劇、ボランティアさん感謝の会、音楽療法等の音楽活動（2 団体）も行った。施設では、できるだけ少人数の活動やグループ別活動を、利用者さんの意見を取り入れながら実施。

はまぼう（地域療育支援センター事業実施～結）

在籍者 ～ 介護給付費対象者 35 名 日中一時支援事業対象者 3 名 重症心身障害児者通園事業 7 名
作業活動 ～ 園芸（花の苗）、野菜作り、缶つぶし、縫製、さをり織り、請負、手芸品作り、クッキー作り
紙工芸、パン・菓子作りと販売、外部作業等

松ぼっくり

在籍者 ～ 介護給付費対象者 38 名 日中一時支援事業対象者 3 名
作業活動 ～ 内職、いちごポット細粒綿詰め、手芸品・創作ノート製作、缶つぶし
公園清掃（市からの委託）、外部作業（しいたけの収穫補助、ふすま製作・材料分別）

松ぼっくり潮の香分場

在籍者 ～ 介護給付費対象者 19 名
作業活動 ～ 祭典用のき花製作、請負作業、外部作業（漁業、企業～襖製作の一工程、農作業）

そるとぼっと

在籍者 ～ 介護給付費対象者 17 名
作業活動 ～ 請負、お茶販売、キャンドル、ポストカード等製作、ポスティング、お店での自主製品販売

ケアホーム汐風（磐田市内）

汐風とあしたばに加え、新たに日和とみぎわの 2 箇所がスタート。お世話人さんの支援のもと、障がいのある人たちが 5～6 名で暮らしている。仲間との生活を楽しんでいる様子が何われ、お互いに助け合いながら、社会的な自立や自己実現を目指している。

地域生活支援事業

日中一時支援事業、移動支援事業（外出介護事業）、ライフサポート事業のほかに、福祉有償運送事業。施設利用者さんや特別支援学校生からの依頼が中心。徐々に児童や重心の方からの依頼が増えてきている。

※ 尚、法人及び施設の事業・会計報告の詳細は、法人事務所に備付の公開用決算等関係書類を閲覧。